

平成25年度事業報告

(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

一般社団法人 日本野球機構

《公益目的事業（野球振興事業）》

（１）趣旨（目的）

本事業の目的は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することである。下記業務は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、本事業目的の達成に向けてこれら活動を一体的に運営し、来年度も引き続き同様の事業を行う。

（２）事業

【育成指導】青少年の野球に関する関心を高めるための各種育成活動のほか、野球指導者、審判員の育成および若手野球選手育成のための活動

①青少年向けの育成活動

- ・プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」
2013年12月4日（土）
北海道釧路市「湿原の風アリーナ」で開催。
2013年12月21日（土）
福島県いわき市「いわきグリーンスタジアム」で開催。
現役選手、高校生が共にユニフォームを着用し実技指導を行った。
- ・NPB12球団ジュニアトーナメントENEOSCUP2013
2013年12月27日から29日まで札幌ドームで開催。
- ・NPBガールズトーナメント
各都道府県より36チーム、約700人が参加。
2014年8月11日に東京ドームで開会式を行い、都内2会場で16日までの5日間開催。
- ・NPB CUP選抜学童軟式野球大会
2014年8月30日、10月26日に開催。
- ・「ベースボール型スポーツ」指導者講習会
2014年8月9日に西武ドームで実施。
- ・東日本大震災復興支援
復興支援作業部会で計画を立案。
岩手県大槌町に投光器4台、収納用プレハブ1基を寄贈。
- ・野球普及・振興活動
NPB未来の侍プロジェクト
12球団フランチャイズ地域に「ベースウォール」を寄贈す

る

事業開始。本年度は東京都・愛知県・埼玉県・北海道に寄贈。
野球普及・振興作業部会で計画を立案
小学校教員向け教本、DVD制作作業を開始。

②若手野球選手育成活動

- ・みやぎフェニックス・リーグ
2013年10月6日から同27日、宮崎県内の球場で開催。
12球団ファームチームのほかに韓国KBOチーム、独立リーグを加えた16チームが参加した。
- ・新人選手研修会
2014年3月3日に12球団新人選手を対象に実施。

③アンチ・ドーピング活動

- ・NPBアンチ・ドーピング選手手帳2014の制作、配布
- ・ドーピング検査の実施
2013年10月に行われたクライマックス・シリーズ、日本シリーズで12検体を検査。
2014年公式戦で96検体を検査。

【表彰支援】

① プロ野球コンベンション

2013年11月26日にランドプリンスホテル新高輪で開催。
記者投票による2013年シーズンのMVP、新人王、ベストナインのほか打撃部門、投手部門のタイトルホルダーおよび正力賞、沢村賞を表彰した。ファーム部門の表彰も併せて実施。

【助成】 野球振興のための公益団体、公共施設への助成金の交付

- ① 成金を交付する野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体
 - ・公益社団法人全国野球振興会（プロ野球OBクラブ）
 - ・公益財団法人日本野球連盟
 - ・公益財団法人全日本野球連盟
- ②助成金を交付する野球に関する博物館、図書館等の公共施設

- ・公益財団法人野球殿堂博物館

《収益事業等（野球奨励促進事業）》

【野球試合日程の編成および審判】

以下の2014年シーズン試合日程を編成するとともに、当該試合に各球団からの請負契約に基づき、NPB契約審判員を派遣（日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュ・オールスターゲームは当法人の主催試合）。

- ・セントラル野球連盟年度連盟選手権試合
- ・パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合
- ・オールスターゲーム
- ・日本選手権シリーズ
- ・イースタン・リーグ年度選手権試合
- ・ウエスタン・リーグ年度選手権試合
- ・非公式試合（教育リーグを含む）
- ・フレッシュ・オールスターゲーム
- ・ファーム日本選手権
- ・みやざきフェニックス・リーグ

【野球試合の主催および開催支援】

①野球試合の主催

- ・ファーム日本選手権
2013年10月4日にサンマリスタジアム宮崎で実施。
- ・日本選手権シリーズ
2013年10月25日（土）から11月2日（日）の間、読売巨人軍と東北楽天ゴールデンイーグルス両チームの本拠地、東京ドーム及びクリネックススタジアム宮城で開催した。

入場者数	235,851	名
入場料収入	1,248,668,585	円
テレビ・ラジオ放送料収入	610,125,000	円
- ・フレッシュ・オールスターゲーム
2014年7月17日に長崎県営球場（ビッグNスタジアム）で開催。

② 野球試合の開催支援

- ・オールスターゲーム（12球団共催、運営受託）
2014年7月18日（金）西武ドーム、19日（土）阪神甲子園球場で開催。

【野球規則の制定および野球技術の研究】

- ・野球協約2014を編集作成
- ・両リーグアグリーメントを編集作成
- ・野球規則委員会においてプロ、アマ合同でルール研究会を実施
- ・2014年公認野球規則の編集および発行
- ・公式戦使用球の検査実施
- ・折損バットの調査を継続実施

【野球選手、監督および審判の養成】

- ・学生野球資格回復へ向けての研修会
2013年11月9日、10日に東京で開催。
- ・野球指導者講習会（一般財団法人全日本野球協会共催）
2014年1月17日～19日に千葉幕張メッセで開催。
- ・プロ野球公認指導者養成講習会
2014年2月8日～10日に東京、同2月21日～23日大阪で開催。
- ・NPBアンパイア・スクール初開催
2013年12月18日～23日 さいたま市内及びロッテ浦和球場にて開催。
- ・NPBプロ審判員自主トレの開催
2014年1月22日～24日明治神宮球場、甲子園球場にて実施。

【野球選手、監督、審判および野球関係者の表彰、それらの者のための養老厚生事業ならびに職業紹介事業の実施】

①養老厚生事業

- ・退団選手一時金制度の実施
- ・監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動と基金への申込取次を実施。

②職業紹介事業（セカンドキャリアサポート）

- ・キャンプでの説明会およびアンケートの実施。
- ・退団者への職業斡旋および実態調査。
- ・セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行。

【会員間の連絡、親善】

- ・新人選手選択会議（ドラフト会議）を2013年10月24日に開催。併せて育成選手ドラフト実施。
- ・12球団役職員名簿の制作、配布

* 一般社団法人日本野球機構定時社員総会

- ・2013年11月22日
自2012年10月1日～至2013年9月30日、（一社）日本野球機構決算報告および事業報告を承認。

* 一般社団法人日本野球機構臨時社員総会

- ・2013年12月26日
理事の選任、退任。常勤理事の報酬について
- ・2014年9月5日
自2014年10月1日～至2015年9月30日、（一社）日本野球機構収支予算案および事業計画案を承認。

* 各種委員会

オーナー会議7回、実行委員会10回、機構理事会13回、その他各種委員会を随時開催。

【野球に関する国際的な連絡および事業の実施】

- ・五輪復帰活動
2014年5月9日～11日にチュニジアで開催された第1回「世界野球ソフトボール連盟（WBSC）」総会に局長が出席、準会員として加盟。
2014年8月1日～3日イタリアローマでWBSC会長兼国際野球連盟会長のフラッカーリー氏と熊崎会長が面談し、野球・ソフトボールの五輪競技復活に向けて協議。

【その他目的を達成するために必要な事業】

- ① 公式記録の作成、管理および運用
 - ・記録員を、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合（交流戦、クライマックスシリーズを含む）、パシフィック野球連盟年度連盟選手権試合（交流戦、クライマックスシリーズを含む）、オールスターゲーム、日本選手権シリーズ、ファーム公式戦（イースタン・リーグおよびウエスタン・リーグ）、フレッシュ・オールスターゲーム、ファーム日本選手権の試合に各球団との請負契約に基づき、派遣して公式記録を作成した。（日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュ・オールスターゲームは、当法人の主催試合）
 - ・公式記録はベースボール・インフォメーション・システム（BIS）で処理し、データベース化して検索サービスを提供、ほかに速報記録等をメディアに配信した。

- ② プロ野球に関する出版物の発行
 - ・オフィシャルベースボールガイド2014
 - ・グリーンブック2014（セントラル野球連盟ガイドブック）
 - ・ブルーブック2014（パシフィック野球連盟ガイドブック）
 - ・イースタン・リーグ観戦ガイド

- ③ プロ野球に関する情報サービス
 - ・プロ野球に関する情報サービスの活動の一環として、12球団ニュース、NPBニュースおよびプロ野球に関する情報サービスをNPB公式サイトで実施。
 - ・携帯電話への文字情報による公式戦等の速報記録等の情報を提供。

- ④ 侍ジャパン事業
 - ・侍ジャパン事業株式会社化の検討を開始。
（2014年11月7日会社設立済み）

- ⑤ グリーンベースボール・プロジェクト事業
 - ・グリーンリストバンド販売収益による植林活動寄付。
 - ・公式戦平均試合時間3時間超過分のカーボンオフセット排出権購入。

- ⑥ 暴排活動
 - ・2012年10月17日にみやぎフェニックス・リーグ参加若手選手を対象に暴排講習を実施予定。

- ・ 2013年1月24日、7月5日にプロ野球暴力団等排除対策協議会・中央協議会を開催。

以上